

早稲田大学 大学院教育学研究科 出題意図および解答例

年 度	2026年度
試 験 日	2026年9月20日
研 究 科	教育学研究科
課 程	修士課程
専攻・コース等	国語教育専攻
入 試 制 度	一般
試 験 科 目	専門科目

出題意図及び解答例（解答のポイント）

【注意事項】

- ※公開する解答例には、別解がある場合があります。
- ※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWebサイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。
- ※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

■出題意図

〔選択一〕国語教育

国語科教育学に関する理論的な文献や資料を的確に読み取り、その内容を理論的に分析し、自らの観点から論述する力を評価・判定する。

〔選択二〕日本語学

日本語学（日本語教育を含む）の基礎的な知識を確認するとともに、一つのテーマについて、通時的・共時的両方の視点から多角的・論理的に思考し説明できる応用力を評価する。

〔選択三〕古典文学（Ⅰ）上代文学

上代文学の文学史や基本的な知識を確認する。あわせて、それらを的確に説明できる力を評価する。

〔選択四〕古典文学（Ⅱ）中古文学

中古文学の文学史や基本的な知識を確認する。あわせて、それらを的確に説明できる力と古典教育の中で生かす力を評価する。

〔選択五〕古典文学（Ⅲ）中世文学

中世文学に関する基本的な知識を確認するとともに、理論的・実証的な文献や資料を的確に読み取り、自らの観点から論理的に説明できる力を評価・判定する。

〔選択六〕古典文学（Ⅳ）近世文学

近世文学の文学史や基本的な知識を確認する。あわせて、それらを的確に説明できる力を評価する。

〔選択七〕中国古典文学

問一では、オーソドックスな古典（文言）文を精確に解釈・訓読できるか否かを問うとともに、文学史の常識を問う。問二では中国古典文学ならびに漢文教育に関わる基本的な問題について、日頃どれほど考察を深めているかを問う。問三では中国古典学に関わる基本項目をどれほど把握しているかを問う。

〔選択八〕近代文学

近代文学に関する基本的な知識を確認するとともに、理論的・実証的な文献や資料を的確に読み取り、自らの観点から論理的に説明できる力を評価・判定する。

〔共通一〕

中等教育国語科、とくに現代文分野の基礎的な理解を基盤として、課題を多面的に捉え、自らの観点から理論的かつ実践的に考察する力を評価・判定する。

〔共通二〕

古文の読解力と文学史の知識を評価・判定する。

■解答例（解答のポイント）

【選択問題】

〔選択一〕国語教育

問一・問二 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・国語教育分野の基礎概念に関する的確な理解と、それを適切に記述する文章力を評価した。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・国語教育分野のトピックに関して問題になる点を理解しているか、実践経験とむすびつける思考力、適切に表現する文章力を評価した。

〔選択二〕日本語学

問一 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本語学（日本語教育を含む）分野の基礎的な術語等理解と、表現力を評価した。

問二 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・中程度の大きさの各テーマについて、それらに対する知識のみでなく、通時的・共時的両方の視点から多角的・論理的に思考し説明できる応用力の確認。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本語学（日本語教育を含む）分野の研究領域・研究対象・研究方法、及び研究意義や応用可能性についてどの程度具体的に把握しているかを確認するとともに、それらについて、日常使用している「日本語」表現を例にどの程度の確に説明できるかを評価。

〔選択三〕古典文学（I）上代文学

問一・問二 論述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・上代文学の中で重要なテーマや作品、作者について正確に理解し、それを的確な日本語の文章で論理的に説明できているかを確認し評価した。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・上代文学の享受史を正確に把握し、現代においてそれを研究・学習・教育することの意義を見出し、自らの言葉で的確に伝えることができているかを確認し評価した。

〔選択四〕古典文学（Ⅱ）中古文学

問一・問二 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

中古文学の中で重要なテーマや作品、作者について理解できているかを確認し、評価した。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・古典教育に関する知見と経験、それを敷衍する思考力、知識や考えを適切に表現する文章力を評価した。
- ・中古文学、国語教育に関する知見、自らの経験等を組み合わせる思考力、適切に表現する思考力を評価した。

〔選択五〕古典文学（Ⅲ）中世文学

問一・問二 特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・中世文学分野の基礎概念・基礎知識に関する的確な理解と、それを適切に記述する文章力を評価した。

〔選択六〕古典文学（Ⅳ）近世文学

問一、問二 論述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近世文学の中で重要なテーマや作品、作者について正確に理解し、それを的確な日本語の文章で論理的に説明できているかを評価した。

問三 論述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近世文学を現代において研究・学習・教育することの意義について、具体的な事例に即して自らの言葉で的確に伝えることができているかを評価した。

〔選択七〕中国古典文学

問一

〔設問一〕

山は高きに在らず、僊有れば則ち名あり。水は深きに在らず、龍有れば則ち靈なり。斯れ是の陋室、惟だ吾が徳馨（かんば）し。苔痕塔に上りて緑に、草色簾に入りて青し。談笑鴻儒有り、往来白丁無し。以て素琴を調し、金経を閲すべし。糸竹の耳を乱すこと無く、案牘の形を勞すること無し。南陽の諸葛が廬、西蜀の子雲が亭。孔子云う、「何の陋か之れ有らん」と。

※ピンインは省略。

〔設問二〕

山は高さが大事なのではない、そこに仙人がいて名山と呼ばれる。水は深さが大事なのではない。そこに龍が棲めばこそ靈なる淵になるのだ。わがこの窮屈な室は、私の徳があればこそ香しいのだ。苔は石段の上まで覆って緑に染め、草の色がすだれの中にまで入り込み青く染めている。この陋室で談笑するのはすべて大学者ばかり、無位無官の民は出入りしない。白木の琴を奏で、尊い聖人の書を読むのによい。管弦のにぎやかな音が私の耳を乱すことはなく、役所の書類に肉体が煩わされることもない。まるで、南陽の諸葛孔明の廬か、西蜀の揚雄の亭かのような。かの孔子が「（君子が住まえば）どうして狭苦しいなどということがあろうか）」といった通りである。

〔設問三・四〕 過不足なく説明できているかを重視した。

問二、問三 記述式問題なので正解例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・基本的な知識・事実を正確に把握し、過不足なく説明できているかを評価した。

〔選択八〕近代文学

問一 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近代文学分野に関する基本的な知識への理解と、表現力を評価した。

問二、問三

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本近代文学史上の重要事項について適切に理解できているかを評価した。

【共通問題】

一 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・国語教育分野に関する知識、文章を理解する能力、実践経験、それらを総合する思考力、また、適切に表現する文章力を評価した。

二

問一 みかん

問二 みかん（橘の実）を食べたい

問三 ある僧（別解あり）

問四 ロ

問五 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・国語教育分野に関する知識、文章を理解する能力、実践経験、それらを総合する思考力、また、適切に表現する文章力を評価した。

問六 かの橘を食みつくす虫

問七 かは・ロ

問八 ホ

以 上